

～年頭のあいさつ～

NPO 法人岐阜県腎臓病協議会
会長 田中和博

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は、会員の皆さまをはじめ、医療・福祉関係者の方々、関係団体の皆さまから多大なご支援とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、全国各地で地震や豪雨などの自然災害が相次ぎました。災害時には、透析患者をはじめとする腎臓病患者が、治療の継続や生活面で大きな不安を抱えることとなります。改めて、平時からの備えや、医療機関・行政・患者団体が連携した支援体制の重要性を強く感じました。当協議会としても、災害時に取り残されない仕組みづくりを、今後さらに進めていきたいと考えています。

さて、本年は岐阜県腎臓病協議会にとって大きな節目となる「第50回大会」を2026年6月7日に「美濃加茂市文化会館 かも～る」にて開催する予定です。これまで活動を積み重ねてこられた先人の皆さまの努力と想いの上に、今の私たちがあることを忘れてはなりません。50回という節目を単なる通過点ではなく、次の世代につなぐ新たなスタートとしたいと考えています。

腎臓病を取り巻く環境は、医療の進歩とともに変化していますが、患者や家族の不安や課題がなくなるわけではありません。だからこそ、声を上げ、つながり、支え合う私たちの役割は、これからも変わらず重要です。

本年も、皆さまと力を合わせ、透析患者の「命と暮らしを守る」ため活動してまいります。引き続きのご理解とご協力をお願い申し上げます。結びに、皆さまのご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げ、新年のあいさつといたします。

2026年 元旦